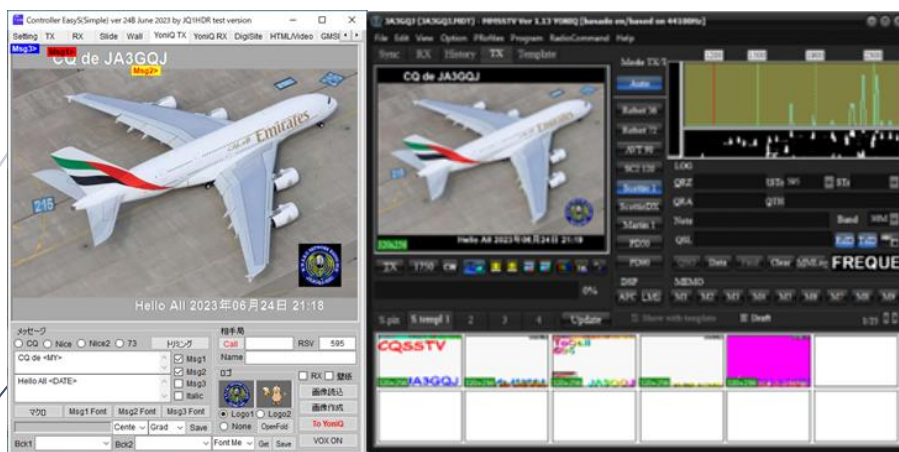


2023年7月1日

MMSSTV・YoniQ 使用体験記

MMSSTV・YoniQ は JH3HHN 森さんのエンジンをベースにして Grupo Radio Galena（ラジオガリーナグループ）がカスタマイズしたソフトであるので操作方法は従来の MMSSTV とそれほど異なってはいない。私は MMSSTV・YoniQ を単独で使うのではなく JQ1HDR 大和さんの Image Controller Easy Simple と組み合わせて使用するためにインストールした体験記をまとめた。



JA3GQJ

目次

1. MMSSTV・YoniQ を MMSSTV・YoniQ のインストール.....	2
2. MMSSTV・YoniQ の起動.....	2
3. MMSSTV・YoniQ の設定.....	2
言語の変更.....	2
RX タグ.....	5
TX タグ.....	5
Misc タグ.....	6
4. Image Controller Easy simple について.....	7
5. Image Controller Easy simple と連携するための設定.....	7
受信用設定.....	7
Image Controller Easy simple の YoniQ RX タグの設定.....	8
受信画像保存用フォルダーのディレクトリー変更.....	9
送信用設定.....	11
送信画像用フォルダーのディレクトリー変更.....	11
6. MMSSTV・YoniQ をインターネットで使用するための通信ソフト.....	13
Peanut.....	13
Client Peanut.....	13
Discord.....	13
7. MMSSTV。YoniQ とインターネット通信ソフトの信号処理.....	13
Peanut と Client Peanut の場合.....	13
Discord の場合.....	14
8. Windows10 のサウンドデバイスの確認.....	14
9. 送信画像準備と送信.....	14
10. Image Controller Easy Simple と MMSSTV・YoniQ のセット運用のメリット.....	16
APPENDIX-1.....	17
APPENDIX_2.....	25

1. MMSSTV・YoniQ を MMSSTV・YoniQ のインストール

[ここをクリックして、APPENDIX-1 を参照](#)

2. MMSSTV・YoniQ の起動

APPENDIX-1 でインストールが終わって、デスクトップに生成されているアイコン
(図 1-1) をクリック → 初期画面 (図 1-2) がポップアップ

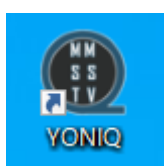


図 1-1

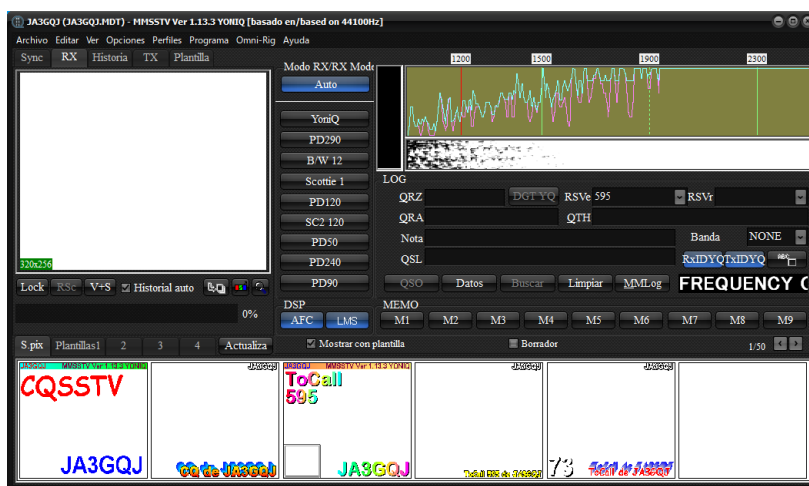


図 1-2

3. MMSSTV・YoniQ の設定

言語の変更

まず、次の手順で言語をスペイン語から英語に変更する。

図 1-2 の上には図 1-3 のように 8 種類のタグが並んでいる → 左から 4 番目の
「Opciones」をクリック → ※1

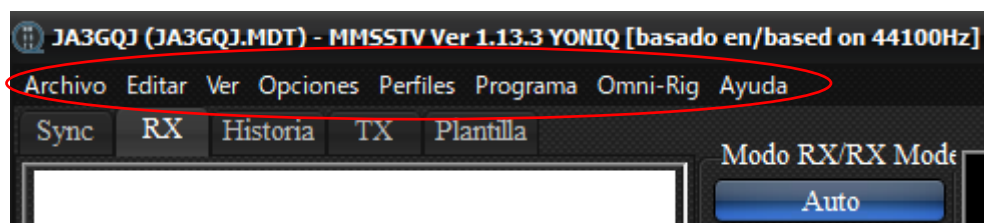


図 1-3

※1 → ポップアップした図 1-4 の一番下の行の「Configurar MMSSTV」をクリック
→ ※2

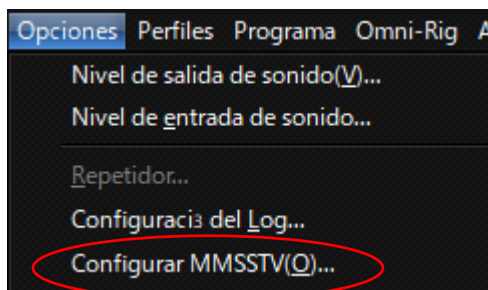


図 1-4

※2 → 「Configuraci MMSSTV」(図 1-5) がポップアップして「RX」タグが表示
されている → ※3

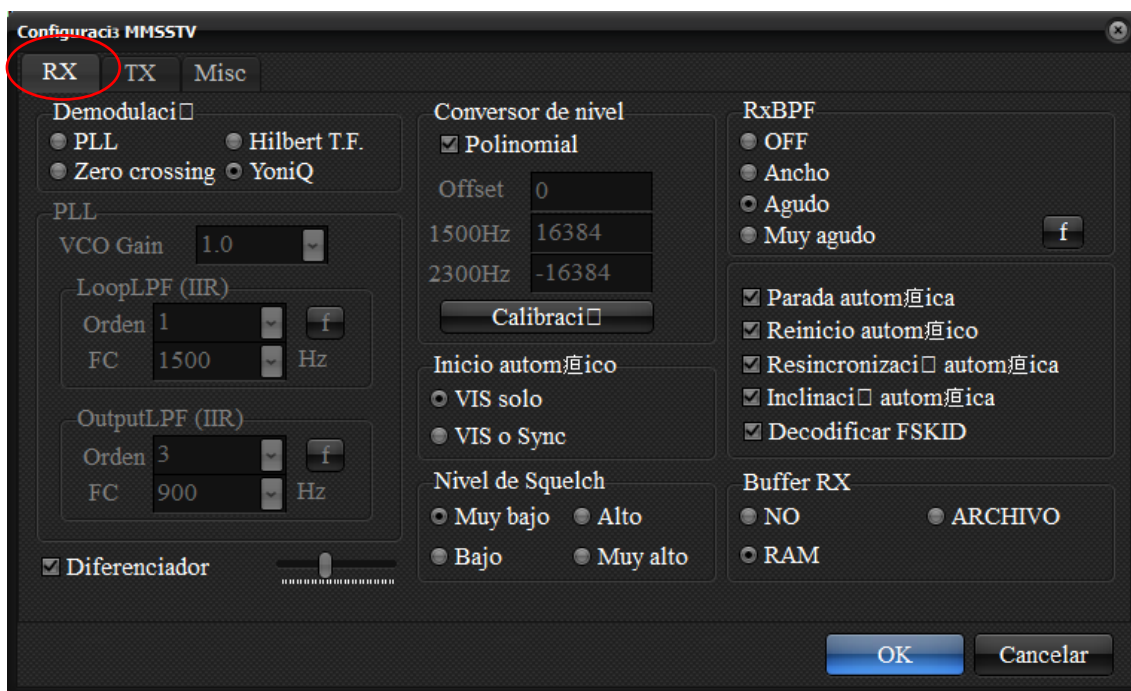


図 1-5

※3 → 「Misc」 タグをクリック → 図 1-6 の画面に変わる → ※4

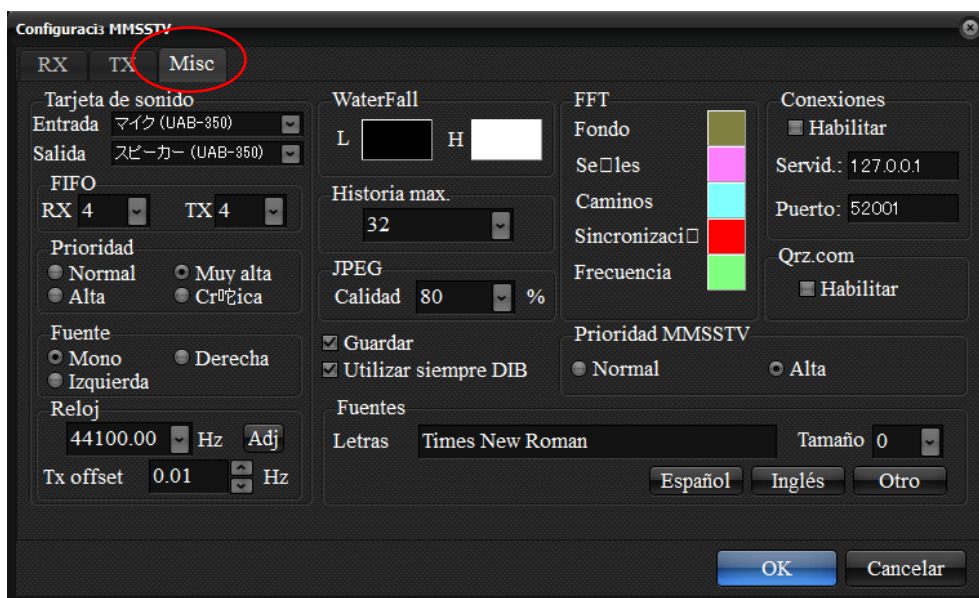


図 1-6

※4 → 画面右下の「Inglés」ボタンをクリック → 「Restart MMSSTV to switch English」がポップアップ (図 1-7) → 「OK」ボタンをクリック → ※5

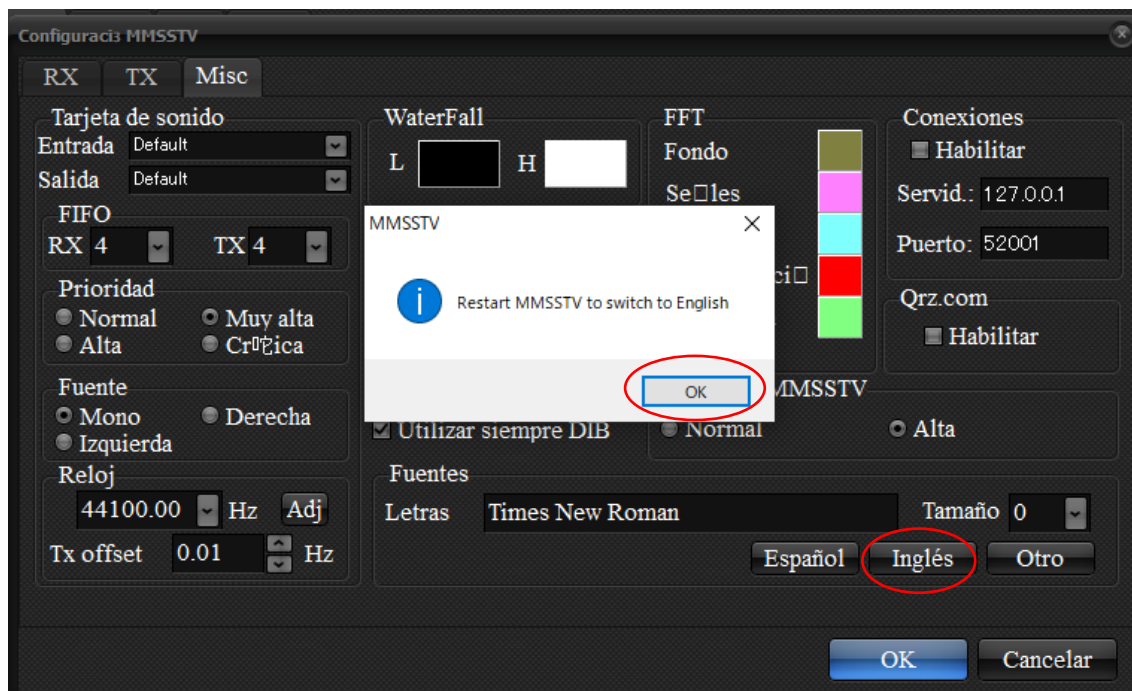


図 1-7

※5 → 8種類のタグの表示が英文に変わった (図 1-8)。

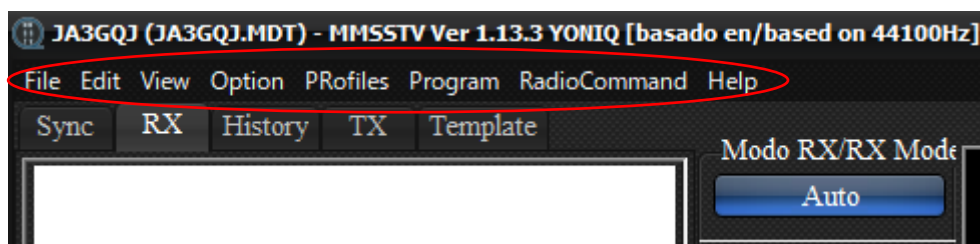


図 1-8

RX タグ

このタグの設定はスキップ。デフォルトのまま。

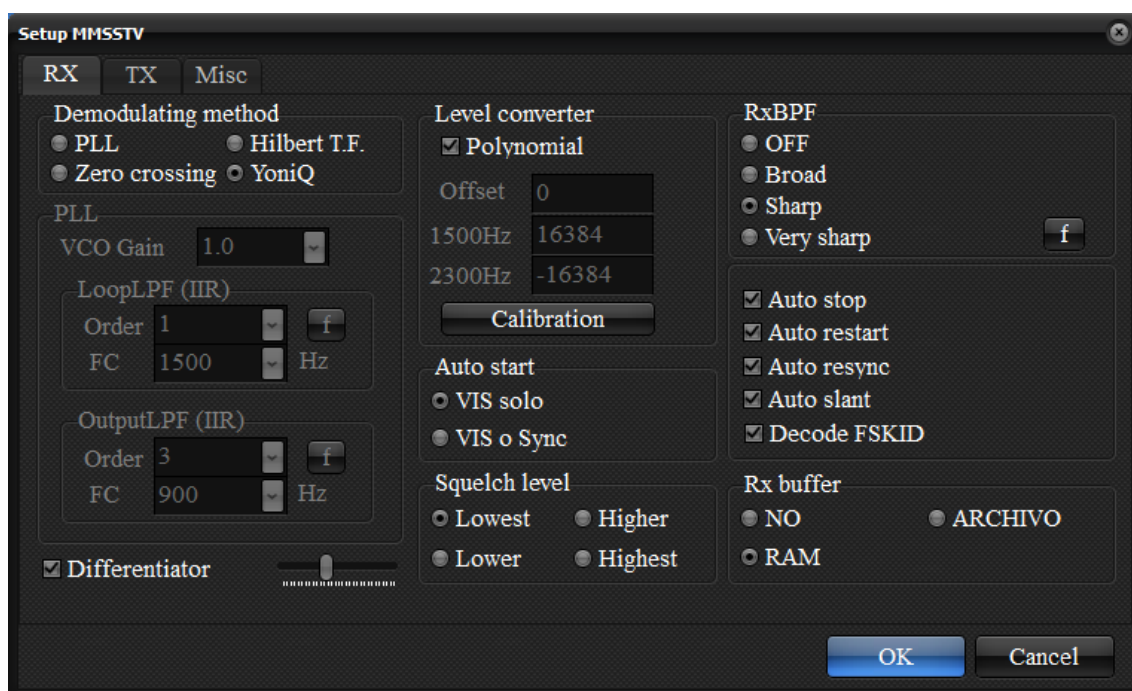


図 1-9

TX タグ

画面真ん中上の「Digital output Level」のスライダーを少し左寄りに設定して送信出力を調整するが、パソコンのサウンドカードデバイスとの関係もあるのでカットアンドトライで決めた。

サウンドカードデバイスについては[ここをクリックして](#) APPENDIX-2 を参照。

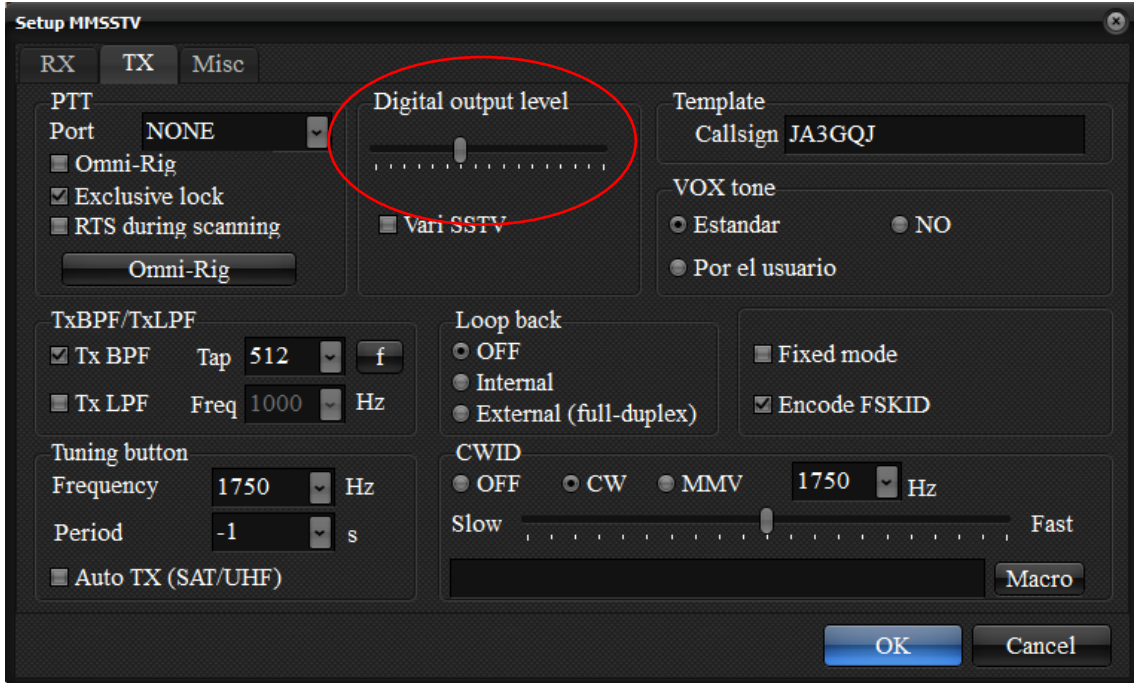


図 1-10

Misc タグ

このタグでは先に言語の変更だけを行ったが、もう一つ大事な事は、画面左上の「Sound Card」（図 1-11）を自分のパソコンのサウンドデバイスに合わせて選択することである。

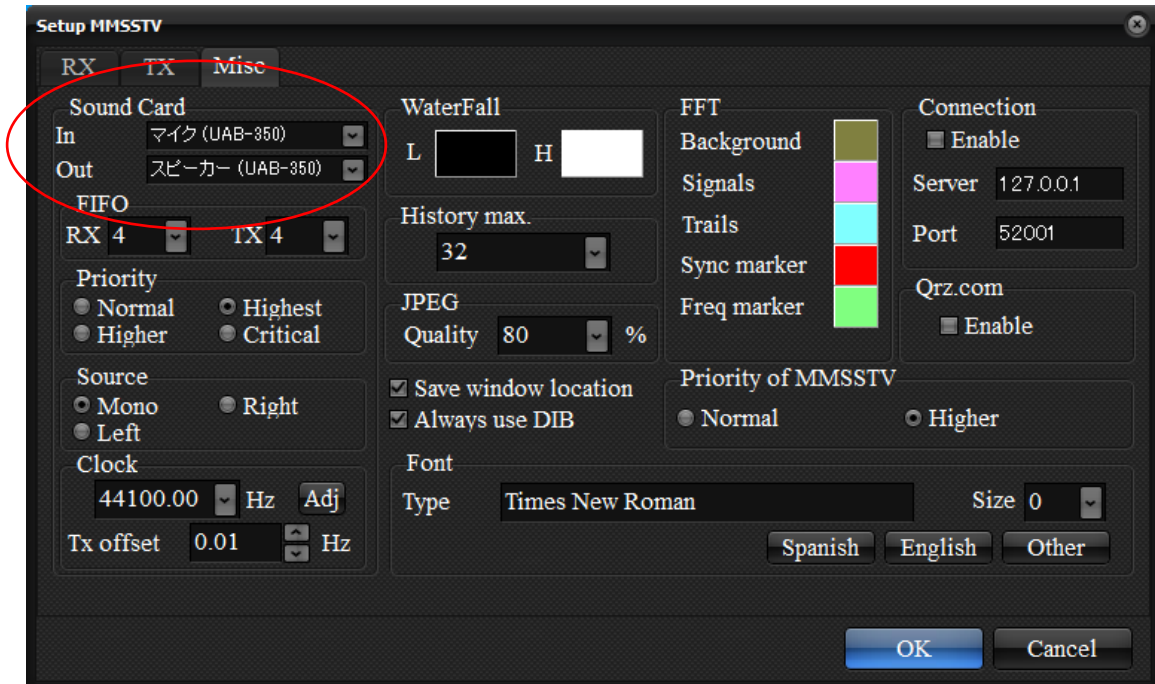


図 1-11

4. Image Controller Easy simple について

[ここをクリックして](#)、別冊「Image Controller Easy simple 使用体験記」を参照。

5. Image Controller Easy simple と連携するための設定

受信用設定

MMSSTV・YoniQ の受信画像 (図 5-1) は Image Controller Easy simple の YoniQ RX タグに表示 (図 5-2) されてデジサイトにもアップされる。しかし、MMSSTV・YoniQ が受信画像を保存するフォルダーのディレクトリーは C:\¥Ham¥SSTV であるが、Image Controller Easy simple は受信画像を C:\¥Ham¥SSTV¥IMAGE へ読みに行っている。従って、MMSSTV・YoniQ の受信画像を保存するフォルダーのディレクトリーを C:\¥Ham¥SSTV¥IMAGE に変更する必要がある。

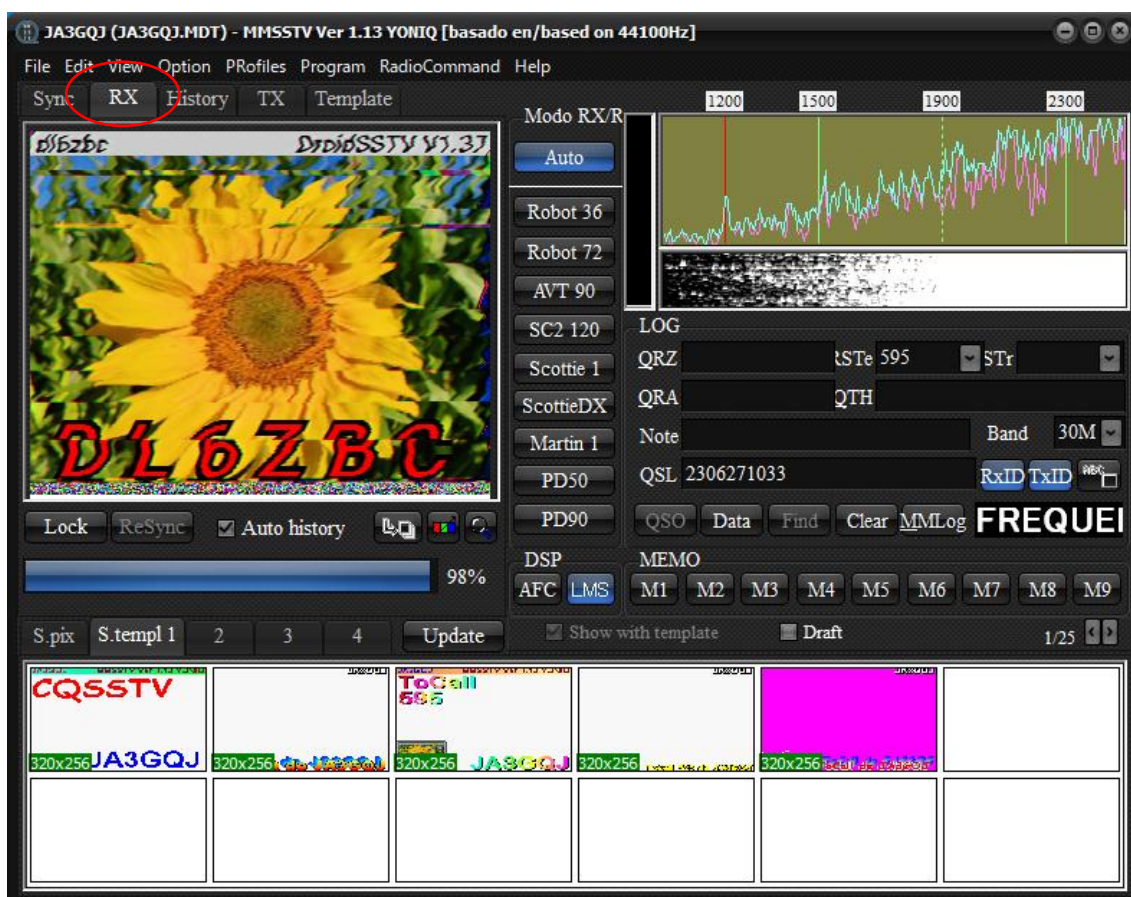


図 5-1



図 5-2

Image Controller Easy simple の YoniQ RX タグの設定

Image Controller Easy simple の Setting タグでデジサーサーバーで付けた名前「Other」を「使用デジサイト」で選択、自動アップロードにチェックマークを付ける。

[ここをクリックして](#)、別冊「Image Controller Easy simple 使用体験記」を参照。

受信画像保存用フォルダーのディレクトリー変更

MMSSTV・YoniQ の「View」タグをクリック → ポップアップした画面のリストの「Always show thumbnails of history」にチェックマーク (図 5-3) → デイスクトップ左上に thumbnail (図 5-4) がポップアップ → ※1

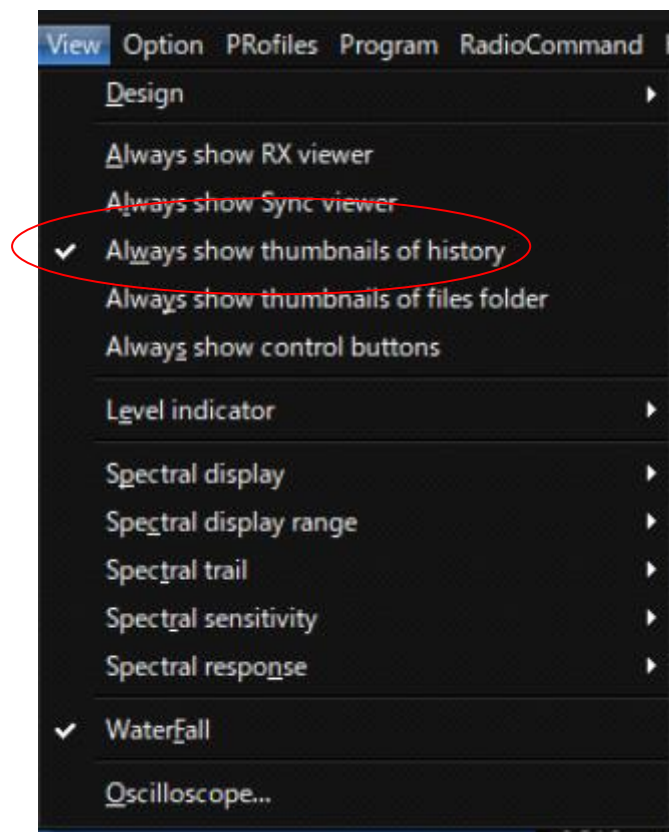


図 5-3

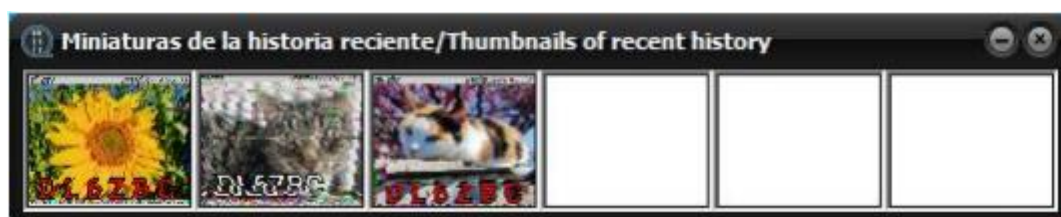


図 5-4

※1 → 画面を右クリック → さらにポップアップした画面のリストの「Move folder」(図 5-5) をクリック → ※2

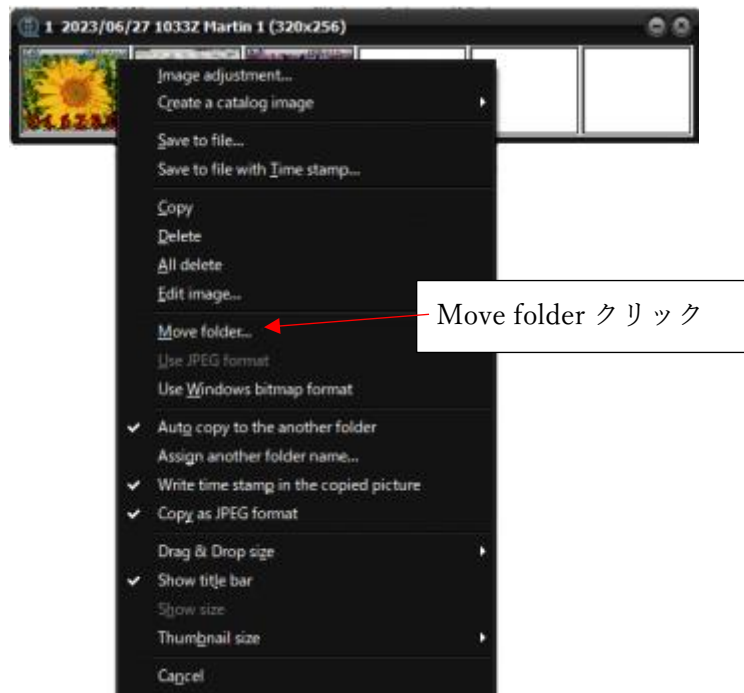


図 5-5

※2 → C:\Ham\MMSSTV のフォルダーが開く → 下のファイル名に「IMAGE」と入力する → 「保存」ボタンをクリック (図 5-6) → ※3

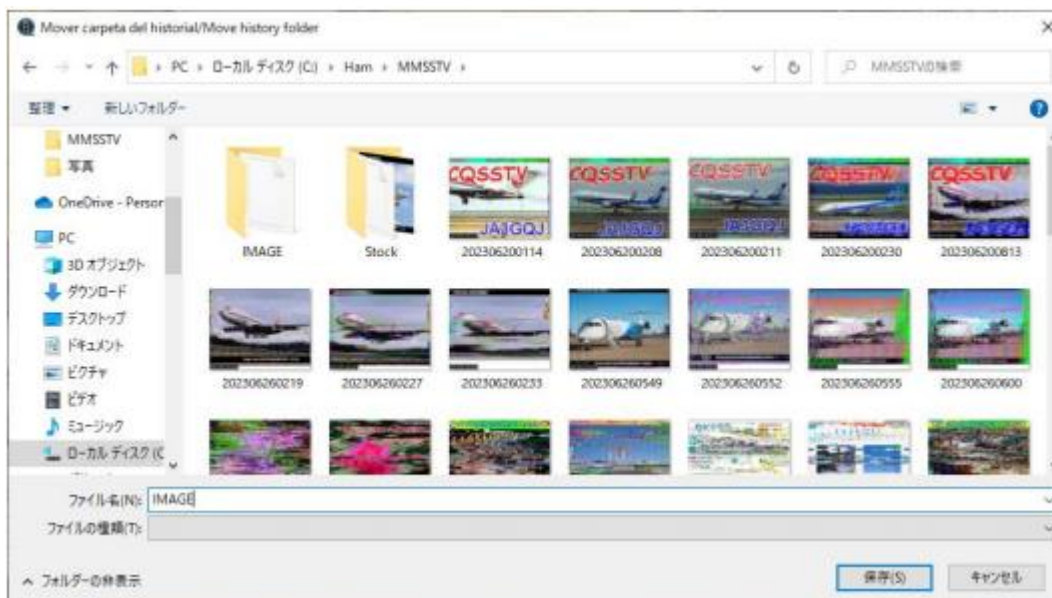


図 5-6

※3 → C:\Ham\SSTV\IMAGE のフォルダーが開く (図 5-7) → これで MMSSTV・YoniQ でフォルダーのディレクトリーが変わったことになる → ※4

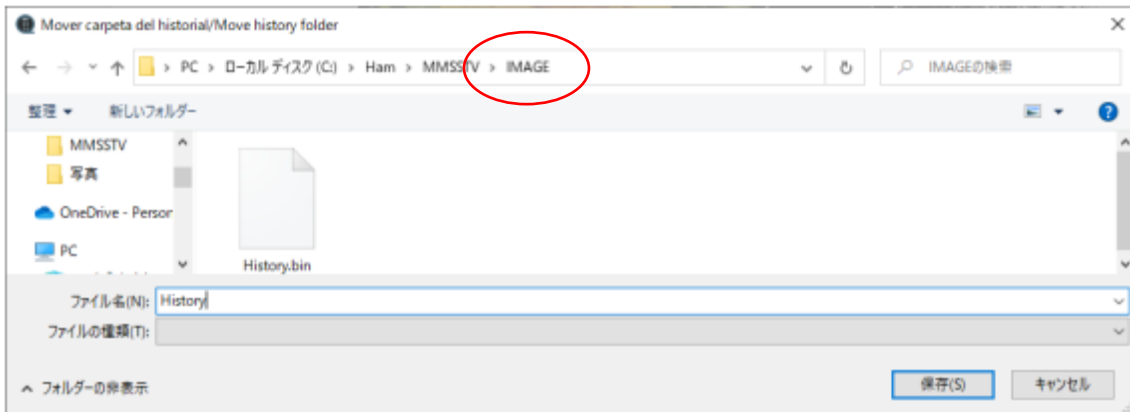


図 5-7

※4 → Image Controller Easy simple の RX タグの「Open RX Folder」をクリック → C:¥Ham¥MMSSTV¥IMAGE のフォルダーが開く (図 5-8) → これで「IMAGE」というフォルダーに受信画像が保存されるようになった。

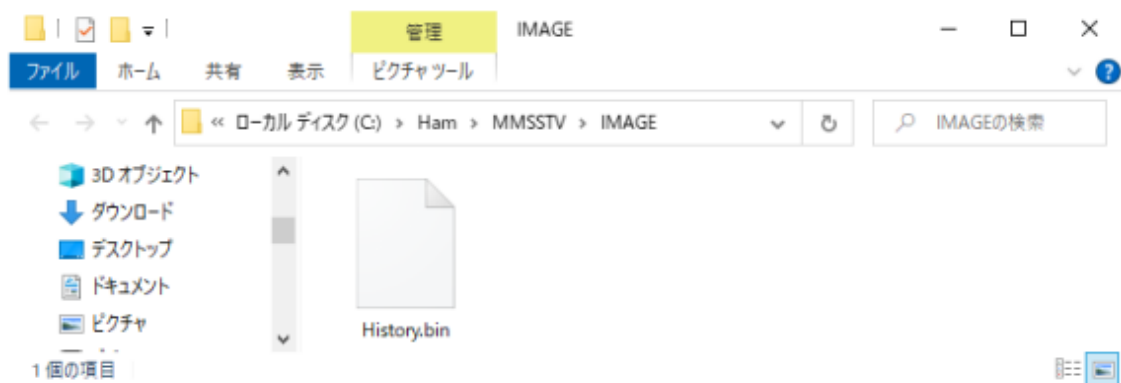


図 5-8

送信用設定

MMSSTV・YoniQ を運用する場合、Image Controller Easy Simple と連携するため、次の設定が必要である。

送信画像用フォルダーのディレクトリー変更

MMSSTV・YoniQ の「View」タグをクリック → ポップアップした画面のリストの「Always show thumbnails of history」にチェックマーク (図 5-10) → デイスク トップ 左上に thumbnail (図 5-9) がポップアップ → ※1



図 5-9

右クリック

※1 → 画面を右クリック → ポップアップした画面のリストの「Auto copy to the another folder」にチェックマーク → そして「Assign another folder name…」をクリック (図 5-11) → ※2

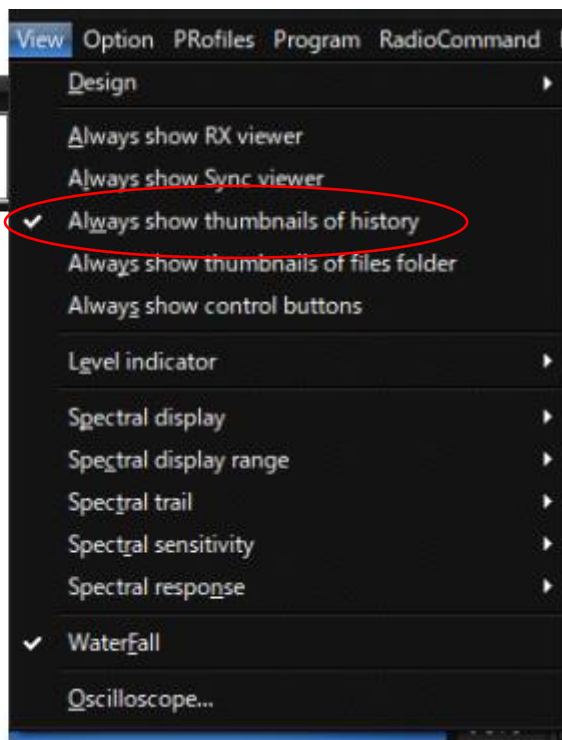


図 5-10

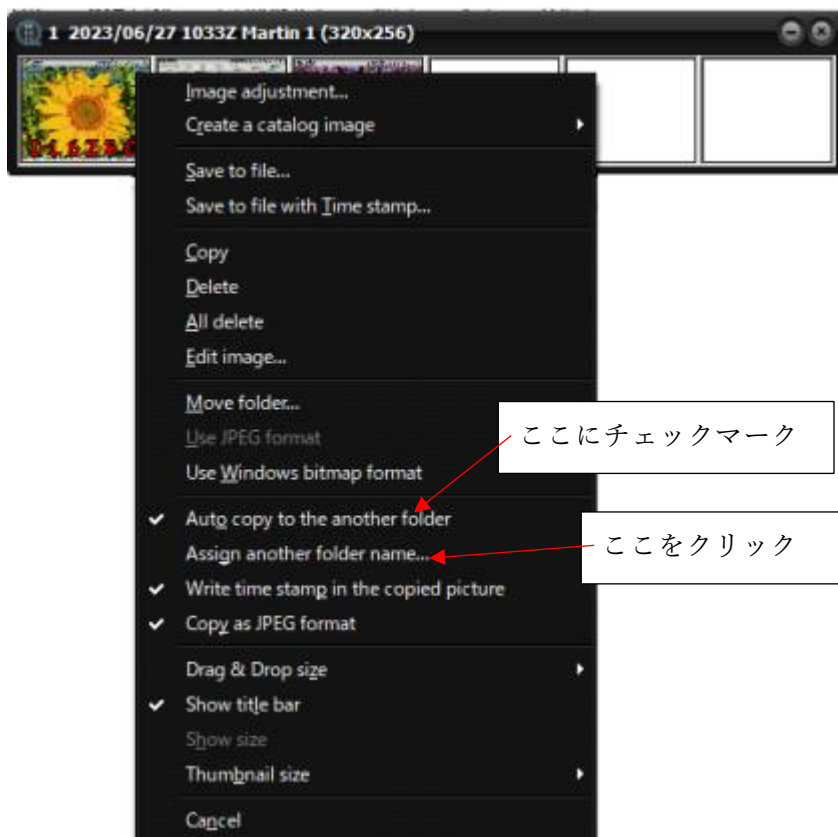


図 5-11

※2 → ポップアップする画面(図 5-12 に「C:¥HAM¥MMSSTV」と入力 → 「OK」ボタンをクリックして終了



図 5-12

6. MMSSTV・YoniQ をインターネットで使用するための通信ソフト

Peanut

[ここをクリックして](#)、別冊「Peanut で画像通信」を参照

Client Peanut

[ここをクリックして](#)、別冊「Client Peanut で画像通信」を参照

Discord

[ここをクリックして](#)、別冊「Discord で画像通信」を参照

7. MMSSTV。YoniQ とインターネット通信ソフトの信号処理

Peanut と Client Peanut の場合

Peanut や Client Peanut が MMSSTV・YoniQ とパソコンのサウンドカードを共有して動作する事、画像信号と音声信号を同時に送信しても問題がない等、トランシーバによるオンエア運用と異なるところに大きな特徴がある。

図-7-1 は画像信号のサウンドカード入出力処理回路のイメージある。MMSSTV・YoniQ の場合サウンドカードのマイク入力とスピーカー出力を電氣的に直結する方法を採用している。

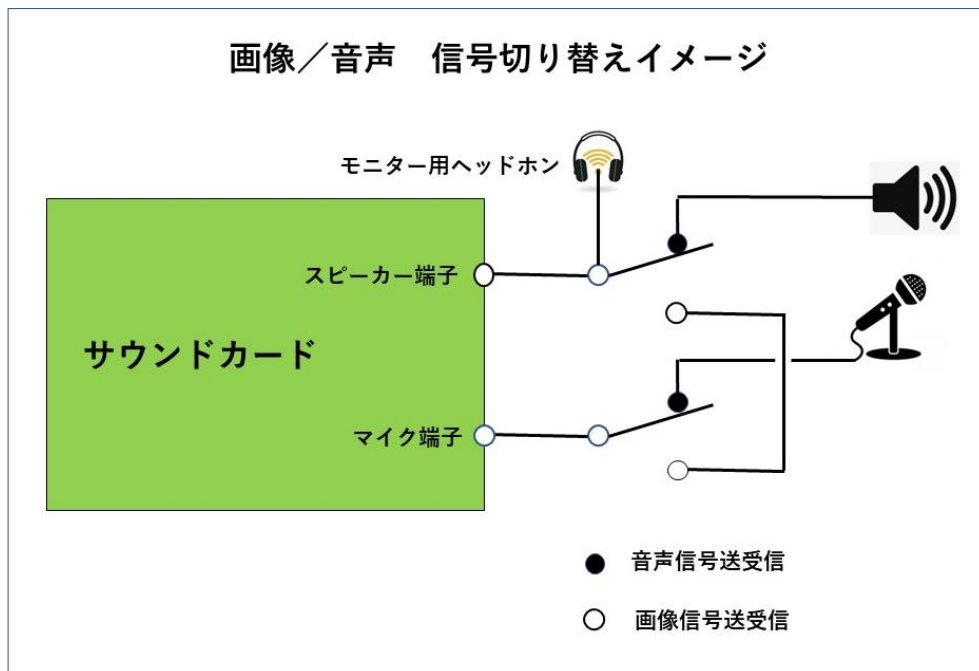


図-7-1

Discord の場合

Discord が MMSSTV・YoniQ とパソコンのサウンドカードを共有している点は Peanut や Client Peanut と同様であるが、Discord は非常に優れた VOX 機能を備えているため信号処理に頭を悩ませることなく音声信号の代わりに MMSSTV・YoniQ の信号を送るだけでよい。

8. Windows10 のサウンドデバイスの確認

[ここをクリックして](#)、「APPENDIX-3」を参照

9. 送信画像準備と送信

Image Controller Easy Simple の YoniQ TX タグで画像を読み込む → マクロで画像に文字を書き込む (図 9-1) → 「画像作成」ボタンをクリックして画像の文字の位置などを調整する → 「To YoniQ」ボタンをクリック → ※1



図 9-1

※1 → 画像が MMSSTV・YoniQ の TX 画面 に貼りつく (図 9-2) → MMSSTV・YoniQ のモードを決める → 送信デバイス (トランシーバー、Peanut、Client Peanut、Discord など) の PTT をオンにする → MMSSTV。YoniQ の「TX」ボタンをクリック → 送信開始 → モードで決められた送信時間で自動的に送信が終了

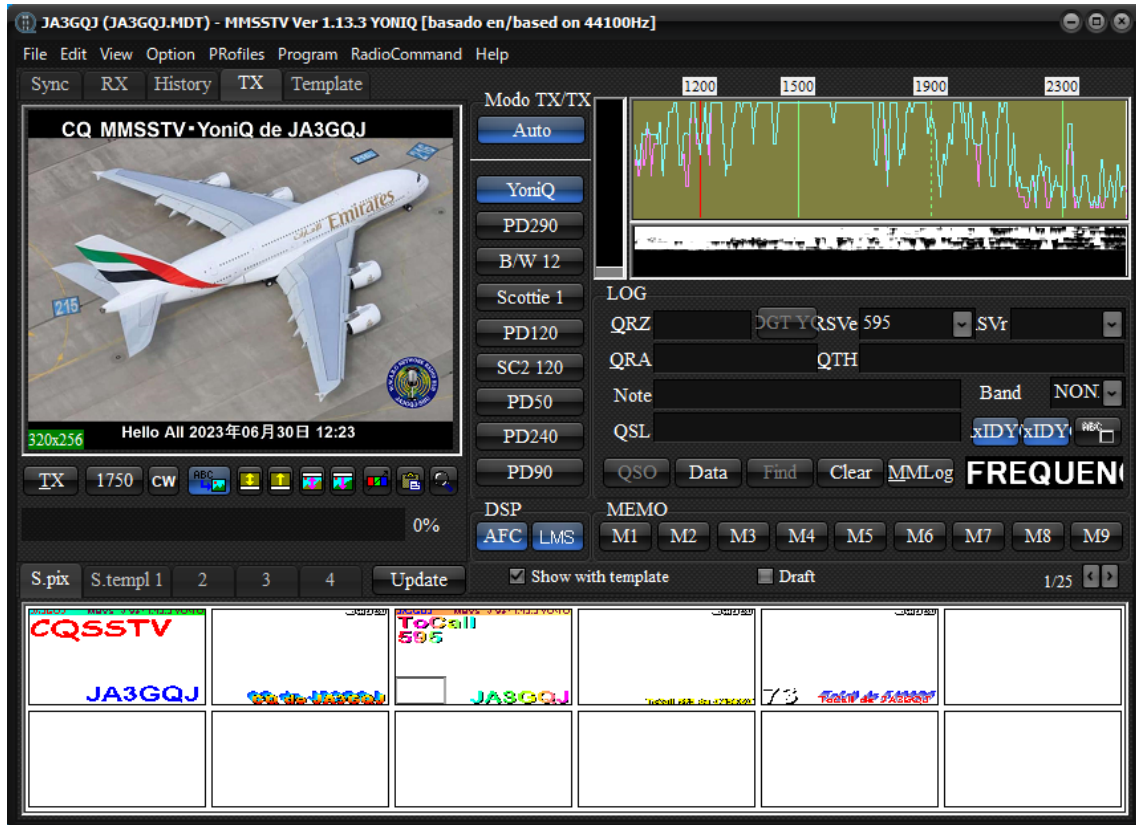


図 9-2

10. Image Controller Easy Simple と MMSSTV・YoniQ のセット運用のメリット

画像に自由に文字を入れることが出来、受信画像をデジサイトにアップできることである

As of 1-Jul-23

APPENDIX-1

MMSSTV・YoniQ のインストール

<http://radiogalena.es/yoniq/>を開く → ポップアップするページをスクロール → ページ中ほどの図1の [Descarga de MMSSTV YONIQ 1.13.3](#) をクリック → ※1

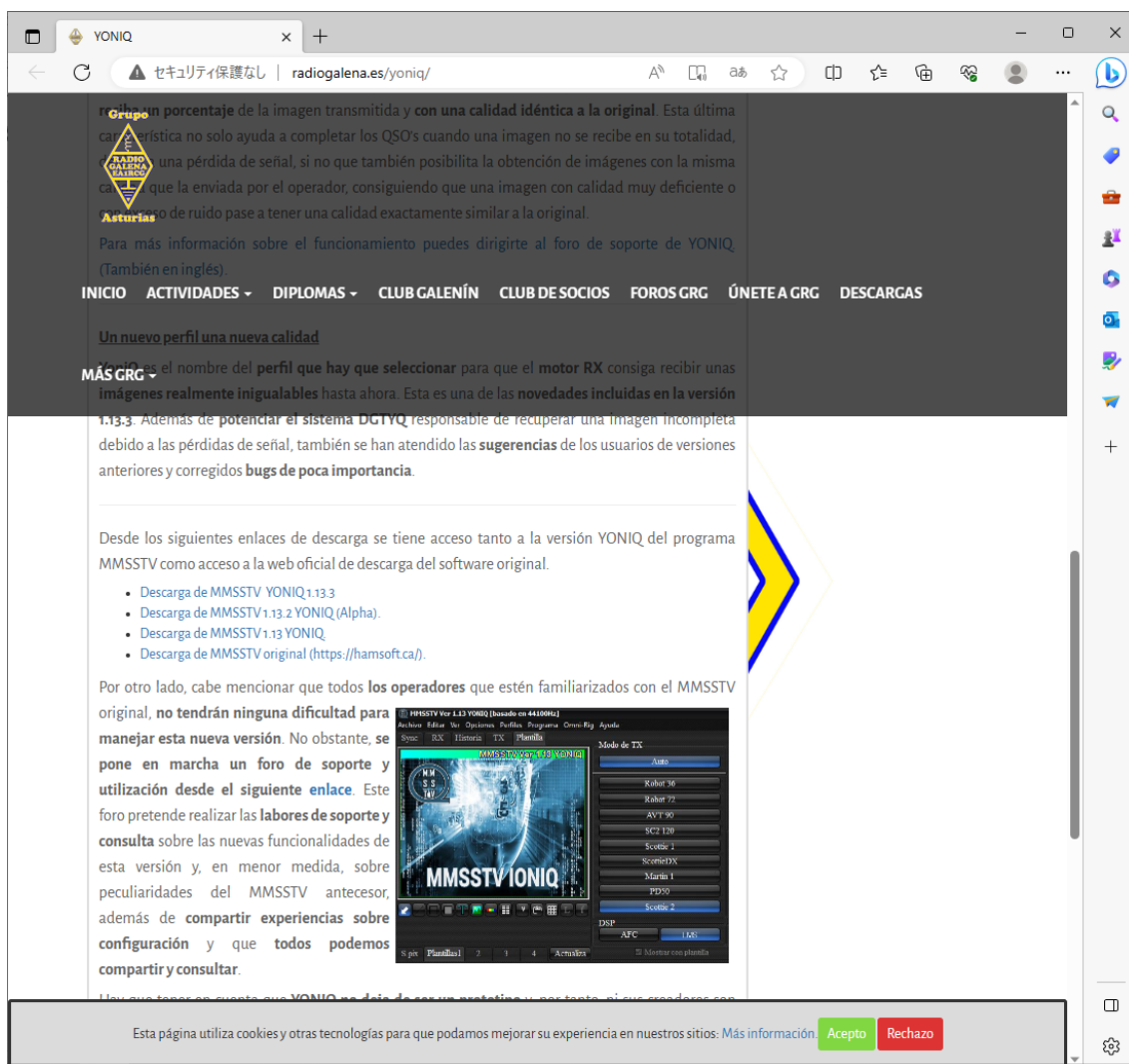


図 1

※1 → 図1の右上にプログレスバーが表示されたあと → 図3の画面に変わる → 「ファイルを開く」をクリック → ※2

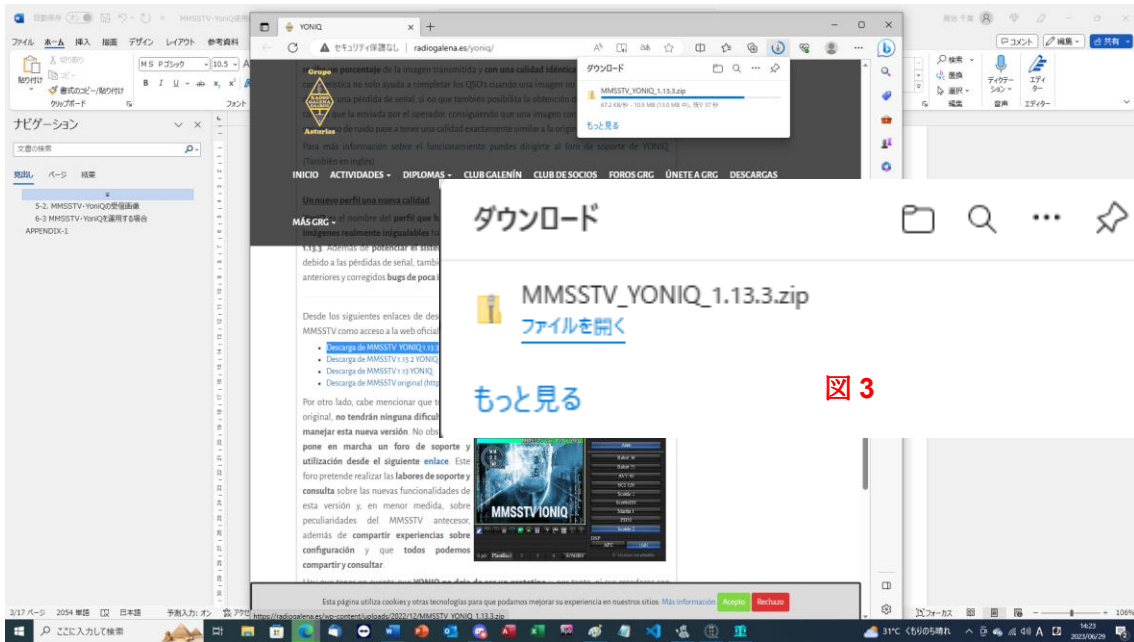


図 2

※2 → ダウンロードフォルダーに「MMSSTV_YONIQ_1.13.3」というファイルが出来ている → ※3



図 3

※3 → 「MMSSTV_YONIQ_1.13.3」というファイルをクリック → 次のページの図 4 から図 m までの手順でインストールを完成した。

図 7 以降の言語はスペイン語らしいが適当にボタンをクリックしていったらインストールが出来た！！

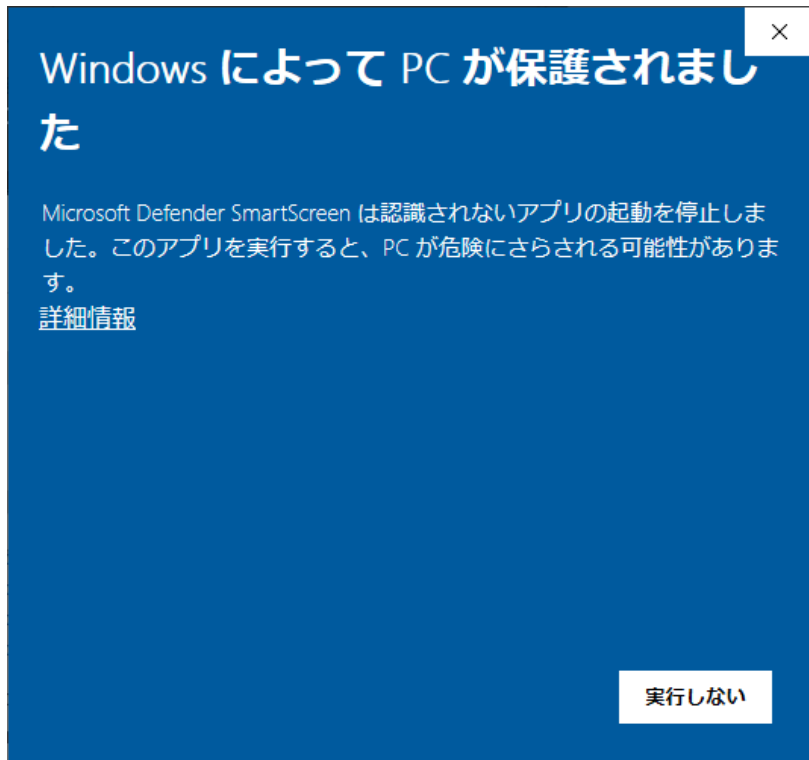


図 4

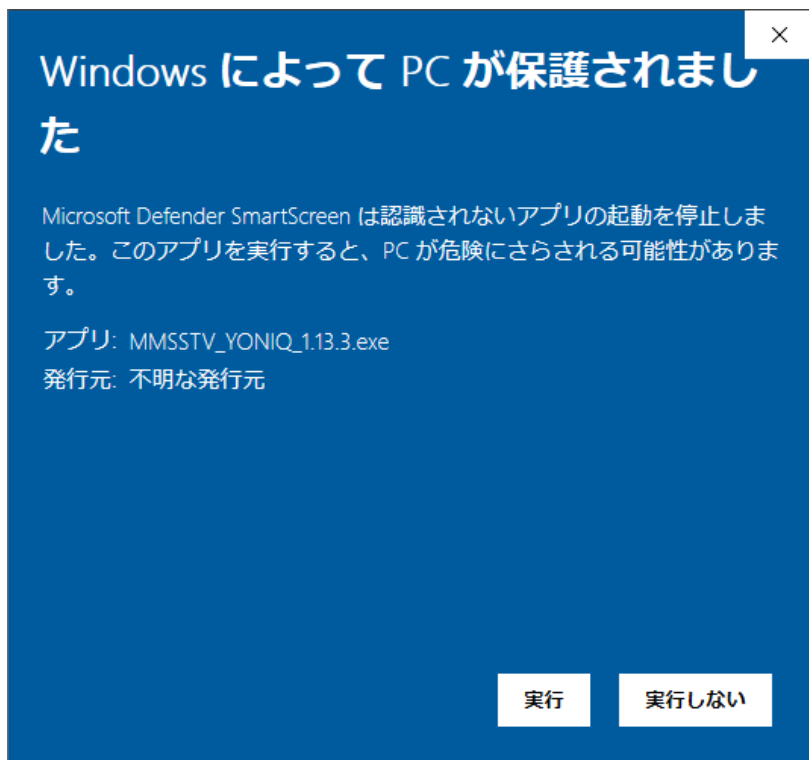


図 5

「はい」をクリック

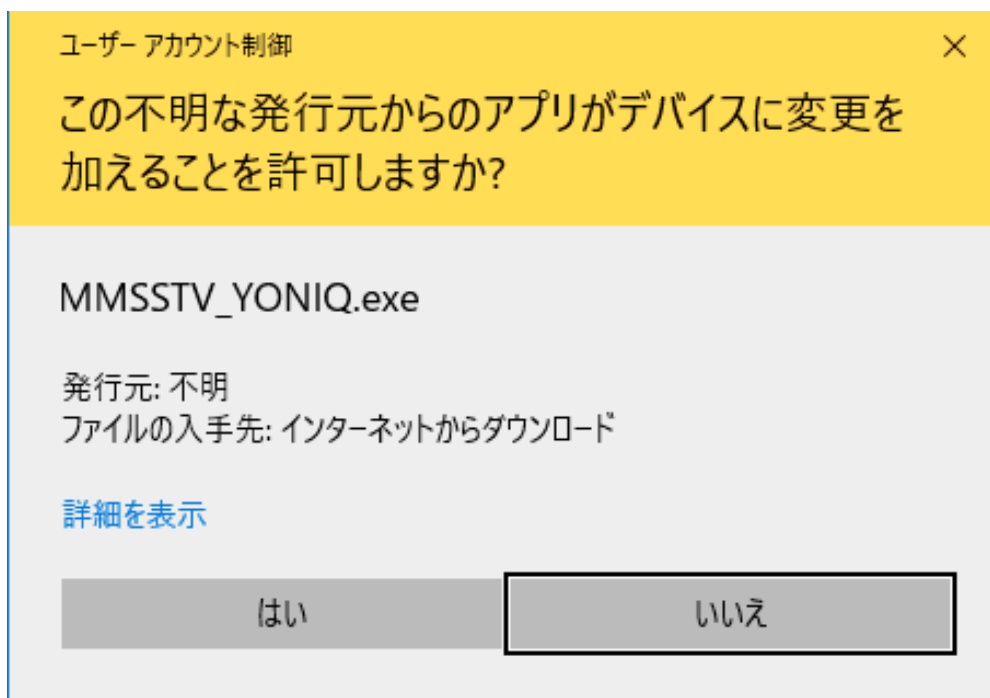


図 6

「Acepto el acuerdo」にラジオボタン → 「Siguiente」をクリック

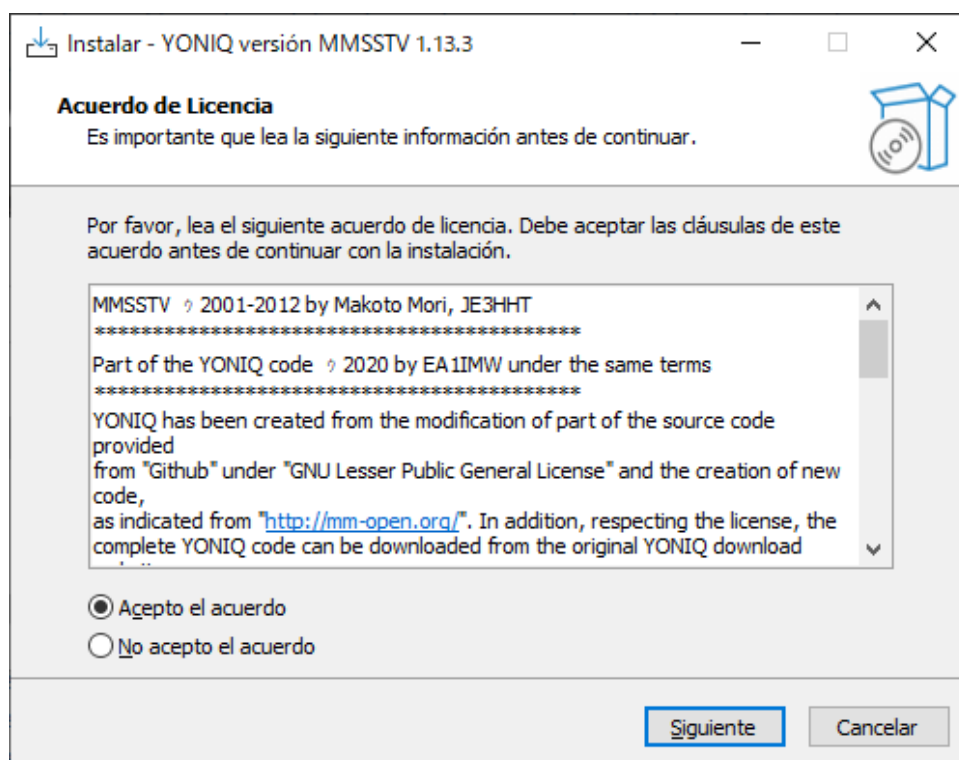


図 7

「Siguiente」をクリック

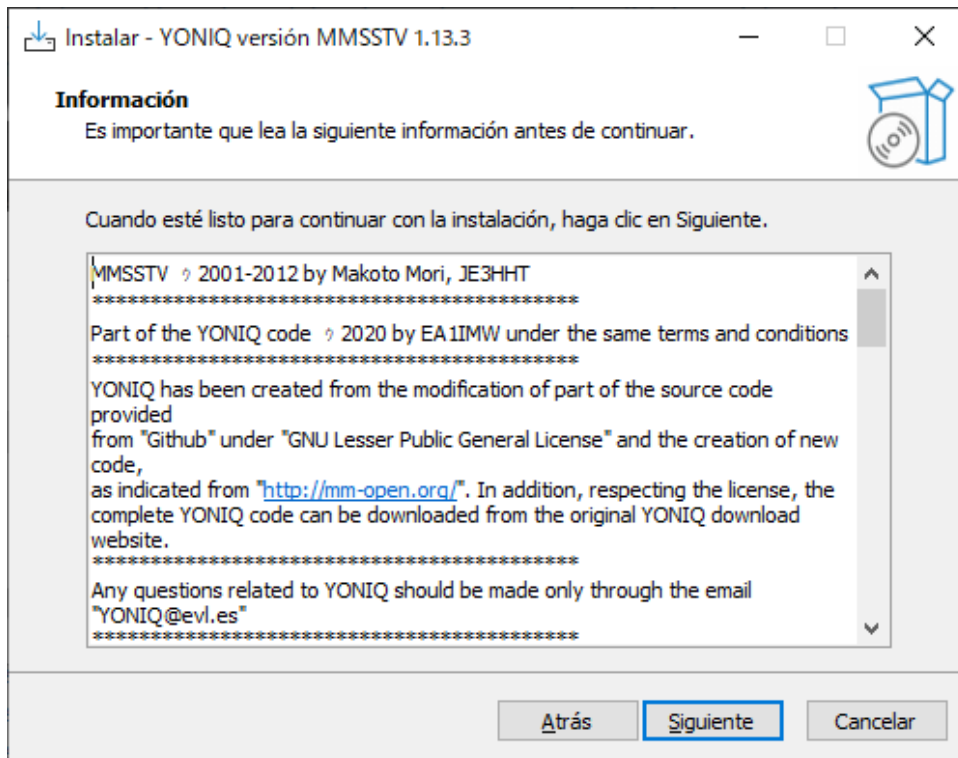


図 8

「Siguiente」をクリック

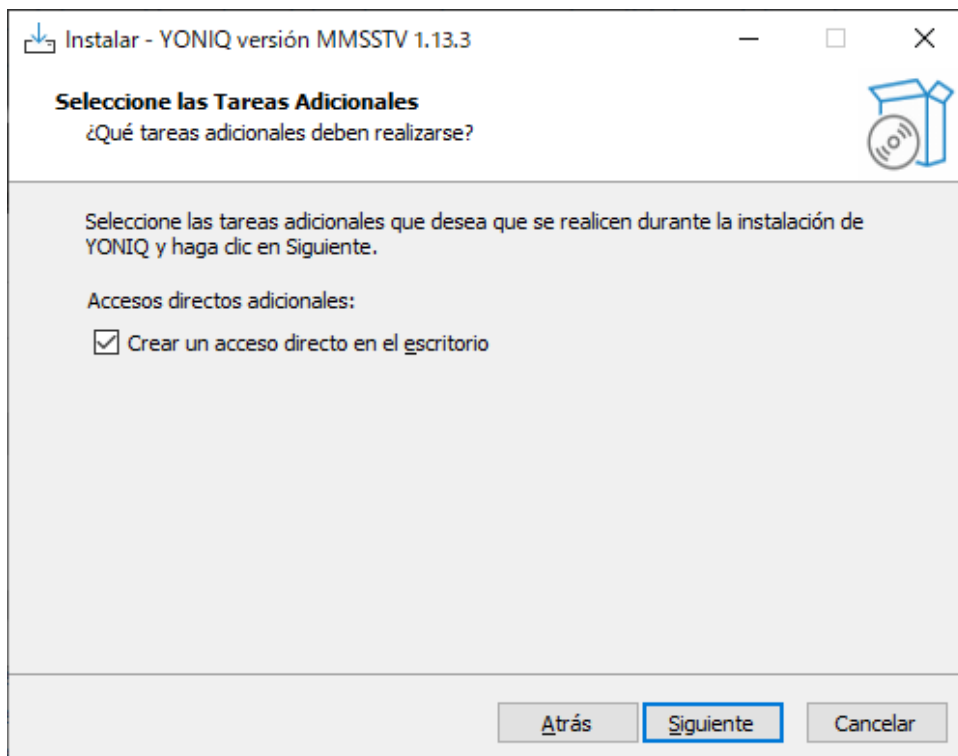


図 9

「Instalar」をクリック

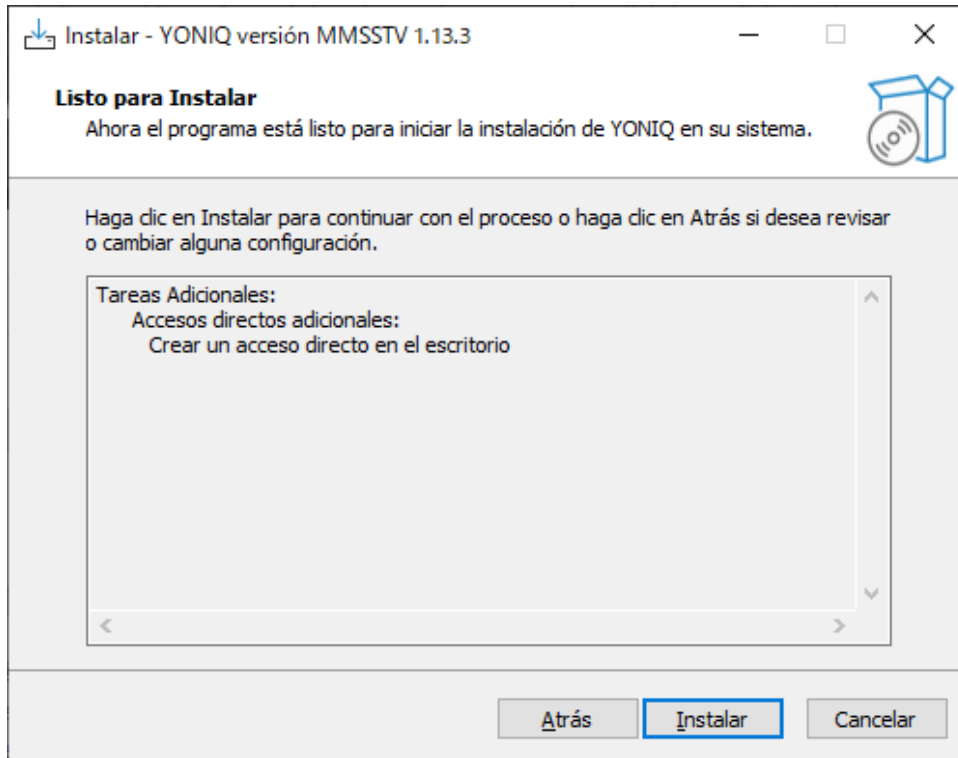


図 10

「Cerrar automáticamente las aplicaciones」にラジオボタン → 「Siguiente」をクリック

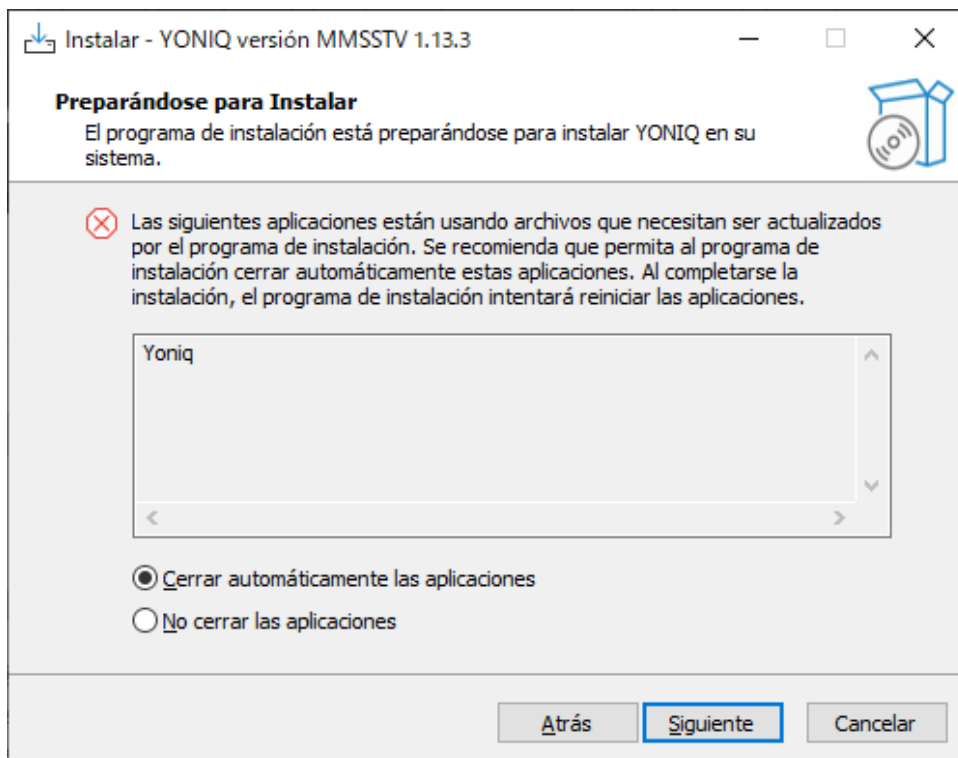


図 11

ただ待つだけ

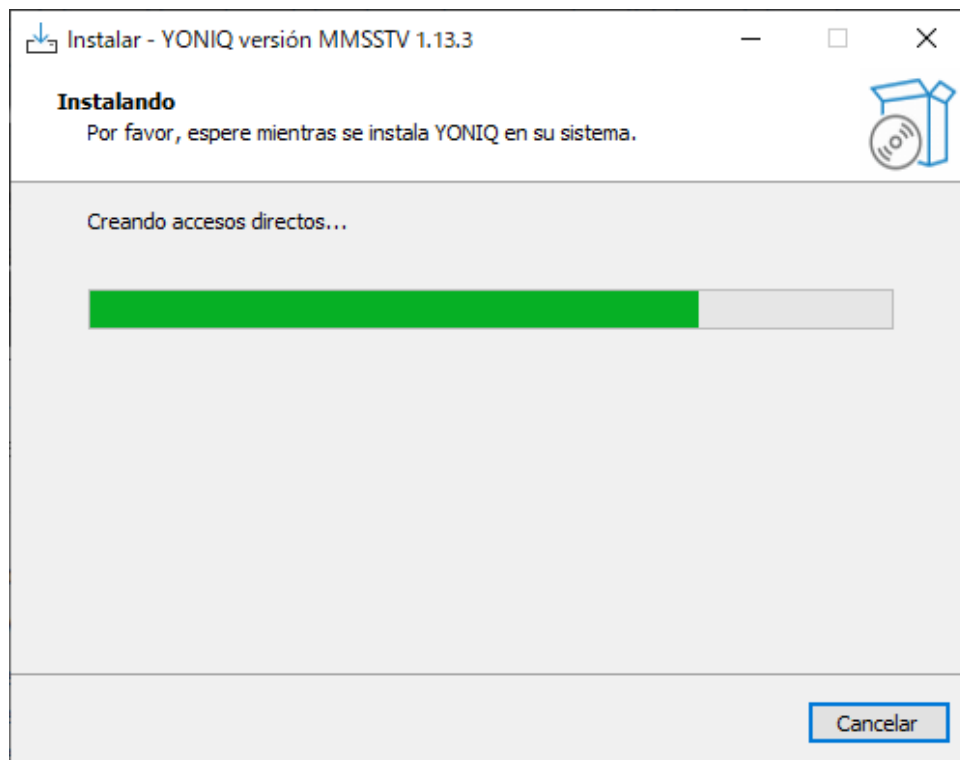


図 12

図 12 のプログレスバーが閉じるとコールアサインを入力する小さな画面 (図 14) と一緒に初期画面(図 13)がポップアップ

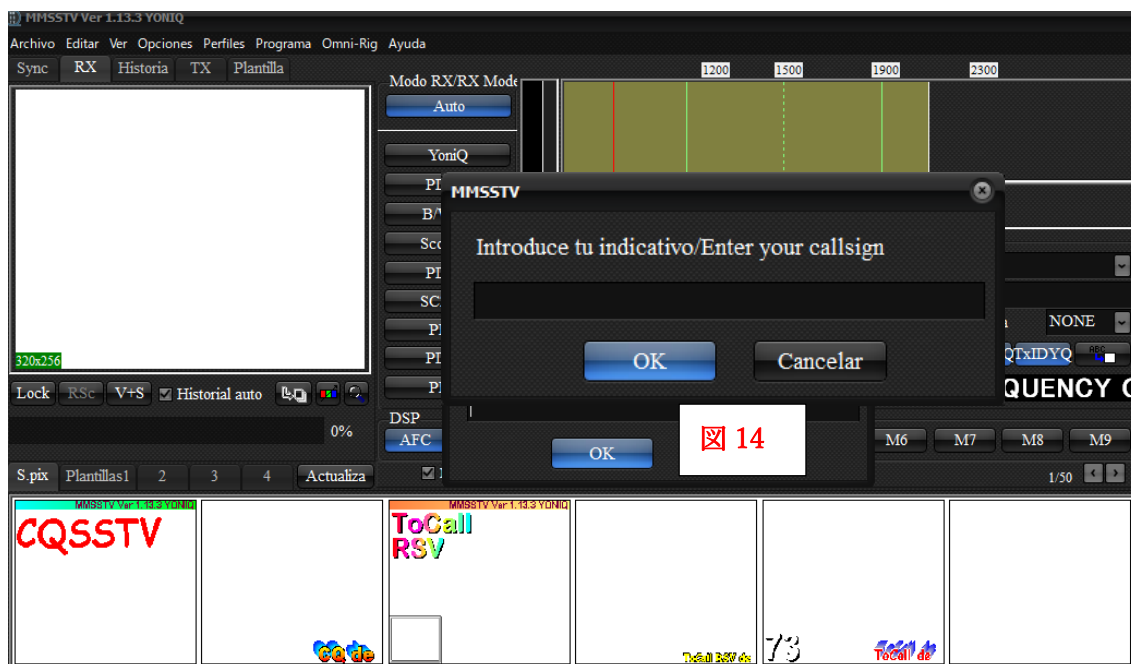


図 13

コールサインを入力する小さな画面 (図 14) にコールサインを大文字で入力 →
図 15 の画面になってインストールが完了

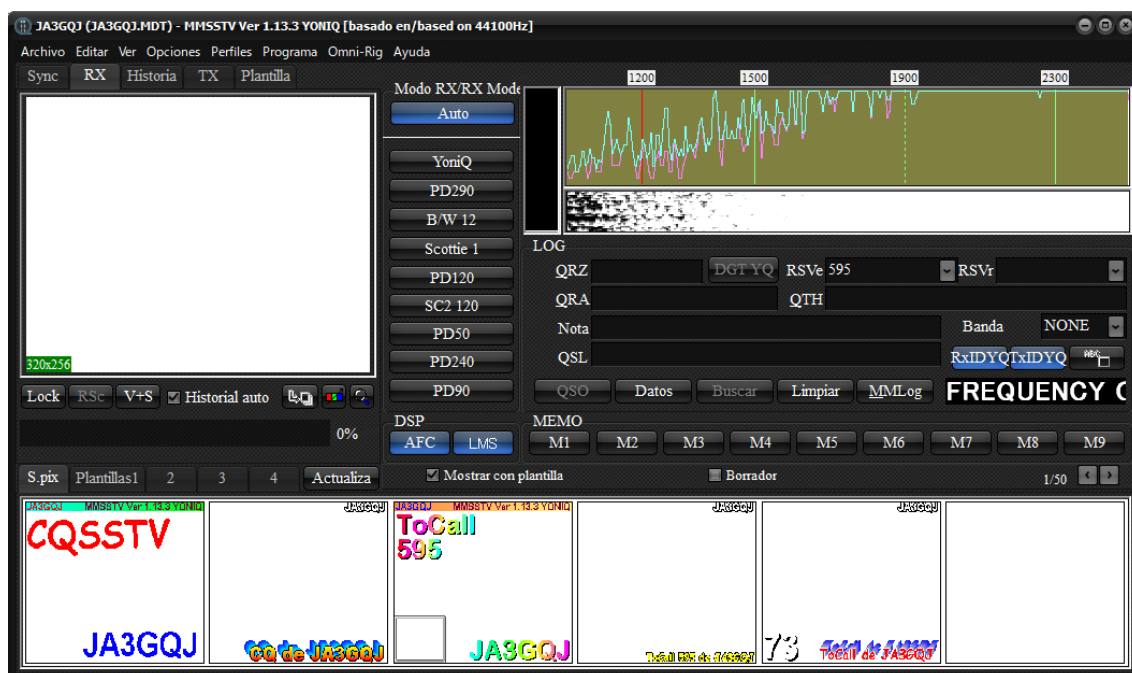


図 15

[ここをクリックして、本文に戻る](#)

APPENDIX-1 終わり

APPENDIX_2

サウンドカードの調整

始めに Window10 のサウンドデバイスの確認をする。

デスクトップの右下のスピーカーアイコン (図 S-1) を右クリック → ※1

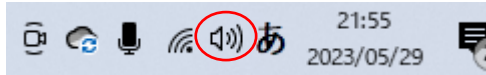


図 S-1

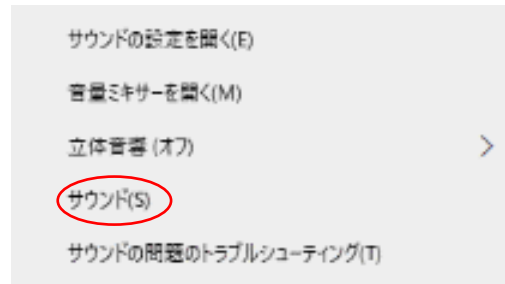


図 S-2

※1 → ポップアップする画面 (図 S-2) の「サウンド(S)」をクリック → 次の画面 (図 S-3) が表示される → 「録音」タグを選択 → マイクデバイスが表示される (図 S-4) → チェックマークが入ったマイクアイコンが現在使用中のデバイスである → アイコンを右クリック → ポップアップ画面の「プロパティ」を選択 (図 S-5) → マイクのプロパティ画面 (図 S-6) がポップアップ → 画面の「レベル」タグを選択 → スライダーでレベルを調節する (図 S-7) → 「OK」ボタンで元に戻る → ※2

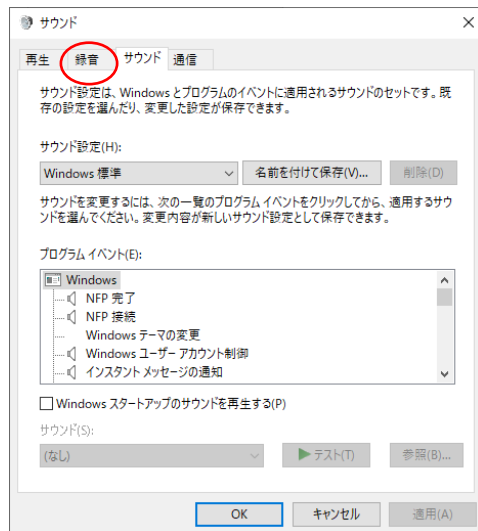


図 S-3

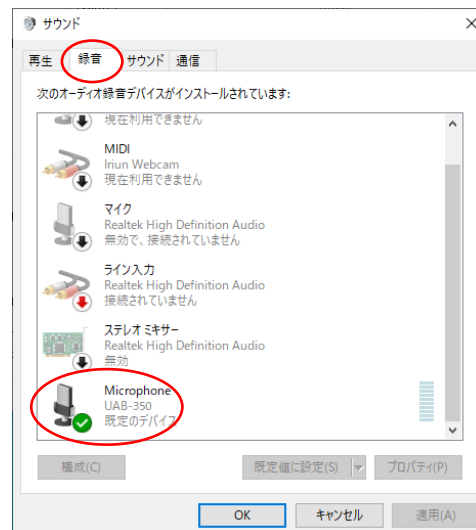


図 S-4



図 S-5



図 S-6

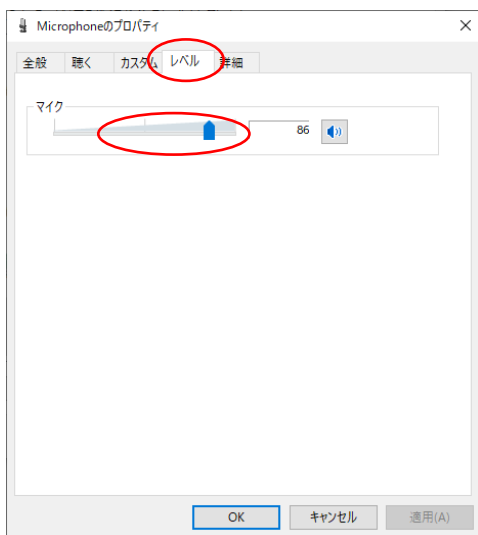


図 S-7

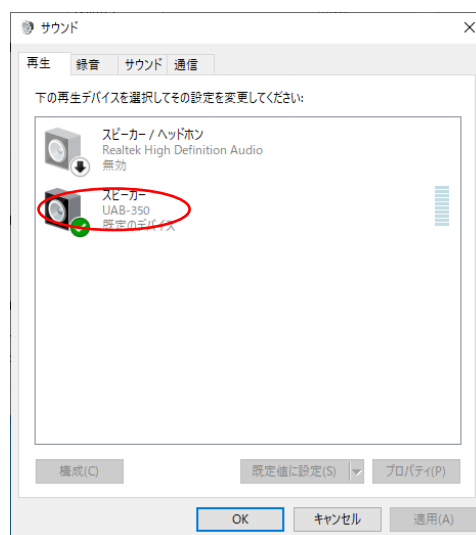


図 S-8

※2 → 「再生」タグを選択 → スピーカデバイスが表示される（図 S-8） →
 チェックマークが入ったスピーカアイコンが現在使用中のデバイスである → アイ
 コンを右クリック → ポップアップ画面の「プロパティ(P)」をクリック（図 S-9） →
 「スピーカのプロパティ」画面がポップアップ（図 S-10） → 「スピーカのプロパテ
 ィ」画面の「レベル」タグを選択（図 S-11）が開く → スライダーでレベル（音量）を
 調節する → 「OK」ボタンで図 S-3 の画面に戻る → 「OK」ボタンでサウンドデ
 バイスの確認終了 → ※3



図 S-9



図 S-10

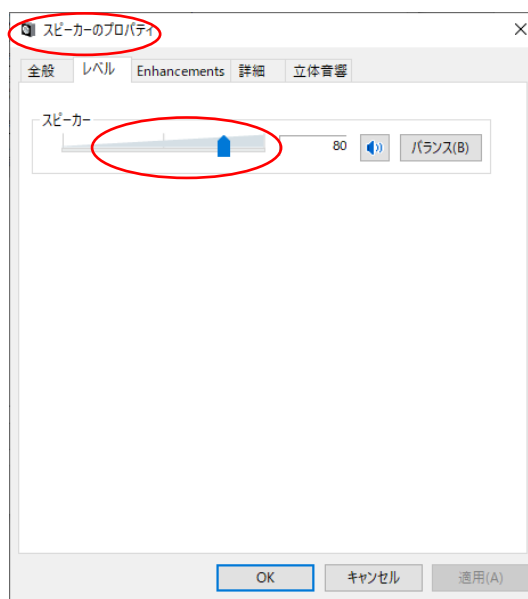


図 S-11

尚、スピーカーのレベル（音量）だけであればデスクトップ右下のスピーカーアイコンを左クリックしてポップアップするスライダー（図 S-11）で調節できる。

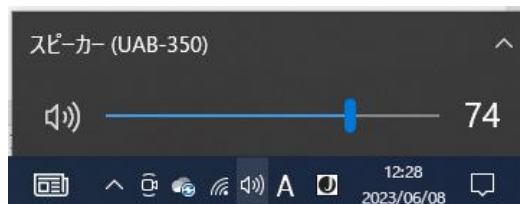


図 S-11

[ここをクリックして、本文に戻る](#)

